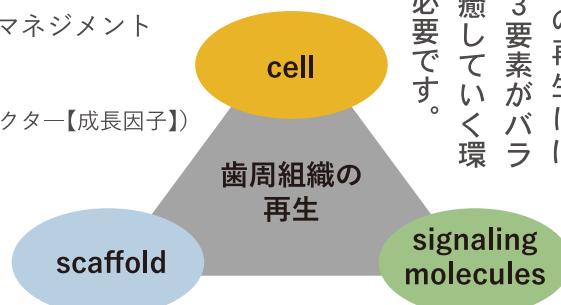




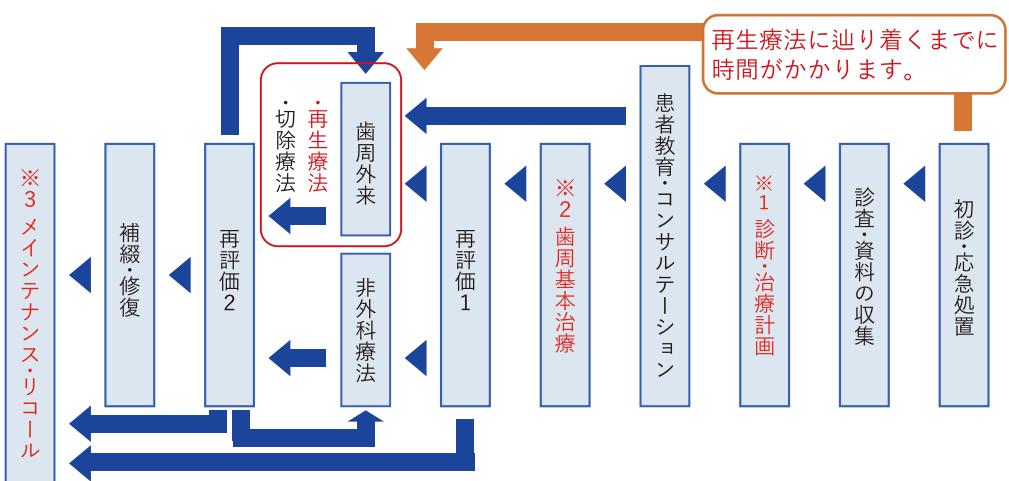
た根面及び失った周囲組織が新生組織に置き換わることをいいます。

歯周再生療法の基本原則

歯周組織の再生には、次にあげる3要素がバランスよく治癒していく環境と時間が必要です。



歯周治療の流れ



※1 診断・治療計画

「再生」では、損傷あるいは喪失した組織が、その構造や機能を完全に回復することをいいます。歯周組織においては細菌にいったん汚染され

歯周再生療法の定義

「再生」とは、損傷あるいは喪失した組織が、その構造や機能を完全に回復することをいいます。歯周組織においては細菌にいったん汚染され

「歯周病について」
全世界でもっとも蔓延している感染症は歯周病である」として、歯周病は2001年にギネスブックに登録されています。現在日本においても成人の約8割が歯周病に罹患しており、歯の喪失原因の第一位となっています。また近年、歯周病と全身疾患の関係が研究され、歯周病が種々の全身疾患の原因となっていることが明らかになり、生死にかかる疾患の原因となっていることも明らかになりました。

歯周炎の進行に伴って歯槽骨は吸収し、さまざまな骨欠損形態を呈します。

歯周再生療法

③治療が成功した場合の患者さんにとつての利益の大きさ

④使用材料について説明

⑤治療効果に患者さんの「プラーカコントロール（ブラッシングの精度）」が影響すること

⑥失敗する可能性と、そのリスクファクターについて

⑦再評価の時期

⑧再評価の結果によっては再度、再生療法、切除療法、歯の挺出などの追加的治療の必要性、その場合の治療費など

⑨メインテナンスを継続する必要性

⑩再生療法に辿り着くまでに時間がかかります。

※2 歯周基本治療

歯周基本治療として、次のことを行います。

①ブラッシング指導

②スケーリングルートプレーニング（歯石取り）

③咬合調整、隣接している歯同士の固定

④むし歯治療：歯の根っこへの治療

⑤プロビジョナルレストレーション（仮歯）

⑥抗菌療法（歯周病の病態をみて必要と判断される場合）

※3 メインテナンス・リコール（定期検診）

- ①再生手術の内容の説明
- ②再生療法の科学的裏づけについて明します。

- ※3 メインテナンス・リコール（定期検診）

歯周基本治療のあと、歯周再生療法の同意書を作成します。そして、歯周再生療法を実施し、メインテナンスなくして、歯周再生療法の成功はない」と言つても過言ではありません。歯周再生療法が必要になった部位、あるいは患者さんには、何らかの原因があつたはずです。その多くはブラッシング精度の問題や噛み合わせの問題が影響しています。病変が再発しないように、それらの原因を患者さんにも認識していただきます。通常は3ヶ月に一度のメインテナンス・リコールが必要です。

ある環境、つまり「湿潤環境」にあるのが絶対条件なのである。
創面に創傷治癒物質（＝細胞成長因子）が分泌されているのであれば、それを有効利用すれば速やかな創治癒が得られると考えるのは当然だろう。細胞成長因子を有効利用するとは、創面の分泌液（＝創面のジクジク）を逃がさないようにすればいい。つまり、傷があつたら、その上を何かで密封してやれば、細胞成長因子は創面に、常に保持されることになり、創傷治癒にかかる細胞は機能を最大限に發揮できることになる。』



クインテッセンス出版株式会社

院長のオススメ図書

第一巻には次のように書かれています。

“創傷治癒にとって乾燥は大敵なのである。逆にいえば、表皮細胞が生き延びて活躍するためには、湿り気のある”

である。逆にいえば、表皮細胞が生き延びて活躍するためには、湿り気の

よかつたら、読んでみてください。”

つまり、「傷を乾かすと治る」という話は全くの誤りであるということが分かっていただけたと思います。

また、第二巻の最後には、

人間は地球という生態系の中で生きていること、人間の皮膚も一つの生態系であることをまず認識し、その中で感染症というものを捉えなれないと思う。人間と細菌は敵対するものではなく、共存してともに生き延びるしか選択肢がない関係だから

かと治る」という話は全くの誤りであるということが分かっていただけたと思います。

人間は地球という生態系の中で生きていること、人間の皮膚も一つの生態系であることをまず認識し、その中で感染症というものを捉えなれない限り、根本的な解決にはならないと思う。人間と細菌は敵対する

かと治る」という話は全くの誤りであるということが分かっていただけたと思います。

人間は地球という生態系の中で生きていること、人間の皮膚も一つの生態系であることをまず認識し、その中で感染症というものを捉えなれない限り、根本的な解決にはならないと思う。人間と細菌は敵対する

今月のコラム

倉岡
朋子



参考書籍

『創傷治療の常識非常識2
熱傷と創感染』



『創傷治療の常識非常識
【消毒とガーゼ】撲滅宣言』

休診日のお知らせ ※日曜・祝日定休

2023年9/16(土)、9/30(土)、10/7(土)

午後診療のお知らせ ～矯正治療～

2023年9/28(木)、10/21(土)

予約なく変更する場合がございます。ご了承ください。
詳しくは院内掲示板、またはHPをご覧下さい。

医院紹介動画を作りました！



ホームページに
掲載中です。
是非ご覧ください！



Q&A総数1,500件以上！

歯の悩みをすぐに解決！！

HPを是非ご覧下さい！



<https://www.kato.or.jp/question/>

加藤歯科医院

検索